



平成 29 年 5 月 11 日

会 社 名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長 山内 一裕
(コード：3202 東証・名証各第 1 部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6557)

繰延税金資産の計上及び業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 29 年 3 月期決算において繰延税金資産を計上することを決定したことに伴い、平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結および個別の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社の近年の業績回復および今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成 29 年 3 月期決算において繰延税金資産 60 百万円を計上することといたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,700	400	250	100	3.34
今回実績 (B)	4,701	417	267	156	5.21
増減額 (B-A)	1	17	17	56	
増減率 (%)	0.0	4.3	7.0	56.1	
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,407	378	74	124	4.17

(2) 平成 29 年 3 月期通期個別業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,700	350	130	30	1.00
今回実績 (B)	3,705	367	153	93	3.14
増減額 (B-A)	5	17	23	63	
増減率 (%)	0.2	4.9	18.1	213.2	
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	4,265	377	38	238	7.97

(3) 差異の理由

(連結)

売上高につきましては、ほぼ前回予想とおりの実績となりました。損益面では、販売管理費において株主優待引当金繰入額の計算基礎となる株主数が4月に入り確定したことによる減少などがあり、営業利益、経常利益の各段階で前回予想を上回りました。

一方、「1. 繰延税金資産の計上について」に記載のとおり当社および連結子会社において繰延税金資産を計上したことに伴い、法人税等調整額△65百万円（△は利益）を計上することおよび平成29年3月29日公表の当社持分法適用会社の持分譲渡に関する中国における課税額が予想を上回ったことなどにより、税金関連費用が予想比△37百万円（△は利益）となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を56百万円上回り156百万円となりました。

(単体)

売上高につきましては、ほぼ前回予想とおりの実績となりました。損益面では、販売管理費において株主優待引当金繰入額の計算基礎となる株主数が4月に入り確定したことによる減少などがあり、営業利益、経常利益の各段階で前回予想を上回りました。

一方、「1. 繰延税金資産の計上について」に記載のとおり繰延税金資産を計上したことに伴い、法人税等調整額△61百万円（△は利益）を計上することおよび平成29年3月29日公表の当社持分法適用会社の持分譲渡に関する中国における課税額が予想を上回ったことなどにより、税金関連費用が予想比△39百万円（△は利益）となりました。

以上の結果、当期純利益は前回予想を63百万円上回り93百万円となりました。

以上